

朝日山地でニホンジカの アコースティックモニタリングを実施

朝日山地では、ニホンジカの鳴き声を録音・解析して、その生息実態を調査する「アコースティックモニタリング」を実施しています。
今年度も10月2日にレコーダーを、当センター職員により設置してきました。



アコースティック機器設置中

過去に、ニホンジカの日撃情報が寄せられた地域に設置します。この朝日山地では10カ所設置予定です。

従来のセンサーカメラによる調査でニホンジカの存在を確認するには、撮影する設置場所をどこにするのが効果的に個体が映るのか等のスキルが必要とされます。

その点、アコースティックモニタリングは、簡単に設置が出来、近辺にニホンジカが生息していれば、直接に装置と接触しなくても、その鳴き声により、生息実態を推定することが可能です。



設置済のアコースティック機器

昨年度の調査では総録音時間6,808時間のデータから、ニホンジカの鳴き声が確認された地区もありました。

当センターでは、今後も朝日山地の貴重な生態系を保全するため、地道に活動を続けていきます。